

が自信に溢れ、まるでスポットライトを浴びているかのようだった。彼女は自分の世界に没頭し、ピアノの音色で物語を語るかのよう

に、熱心に演奏していた。

憂鬱な目とピアノの音色がセレナの心の琴線に触れ、深く魅了した。ノラという名には光、贖い、生命の源という意味がある。ノラのピアノの音色は上品で自信に満ちており、セレナの淀んだ水のような生活に喜びをもたらした。

セレナはノラを見つめ、彼女と話したい、あんなふうになりたいと思った。でも、それは絶対無理だとわかっていた。弾き終わると、

